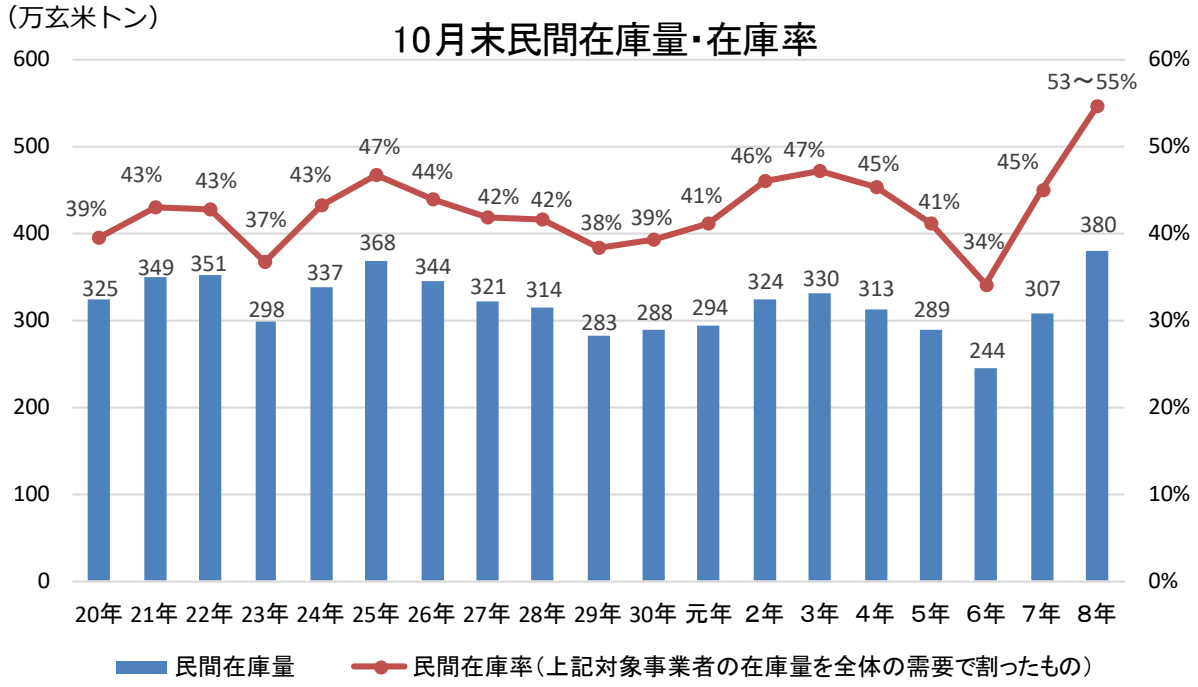
令和８年10月末民間在庫量のポイント

○　令和８年10月末の民間在庫量は対前年同月＋73万玄米トンの380万玄米トンと、最も高い在庫水準。
○　段階別にみると、出荷段階は311万玄米トン、販売段階は69万玄米トンとなった。

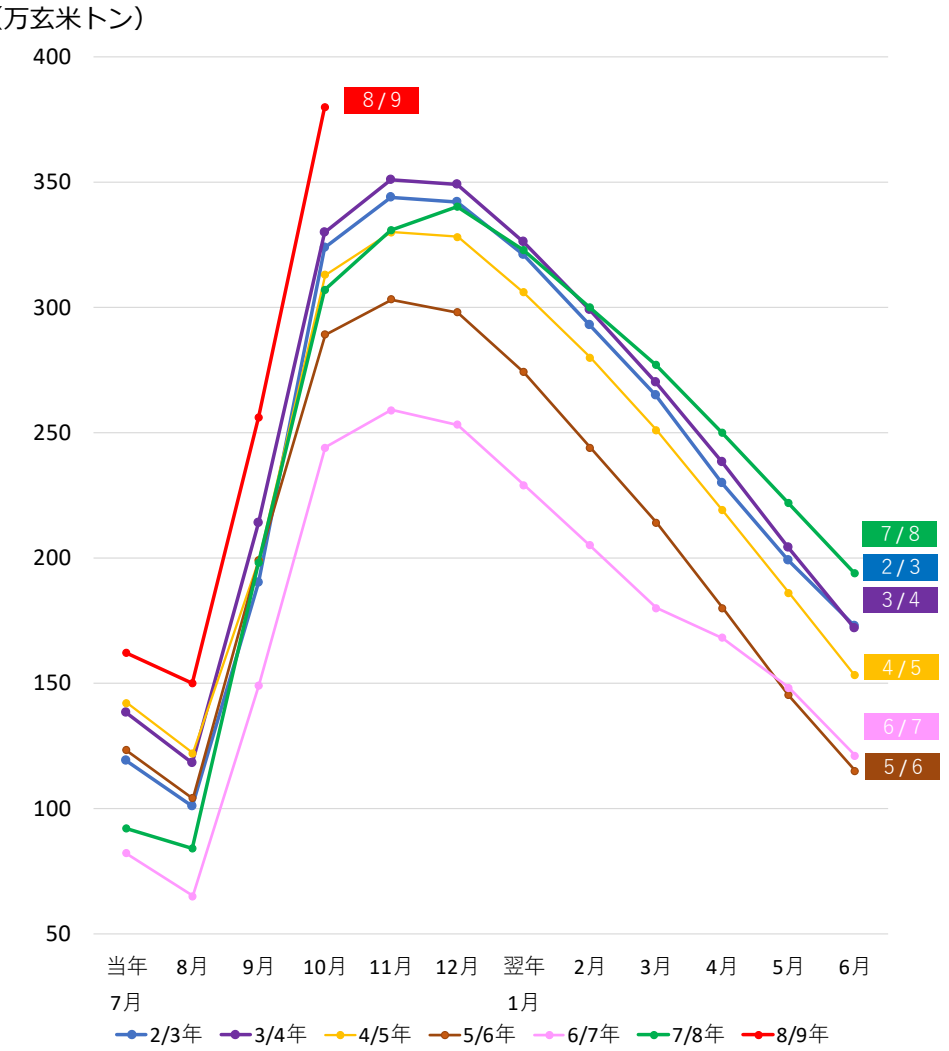
○ 出荷・販売段階別の民間在庫量（うるち米）

（万玄米トン）

	出荷段階	販売段階	合計
7年10月末	227	80	307
前年差	+41	+23	+63
8年10月末	311	69	380
前年差	+84	▲ 11	+73



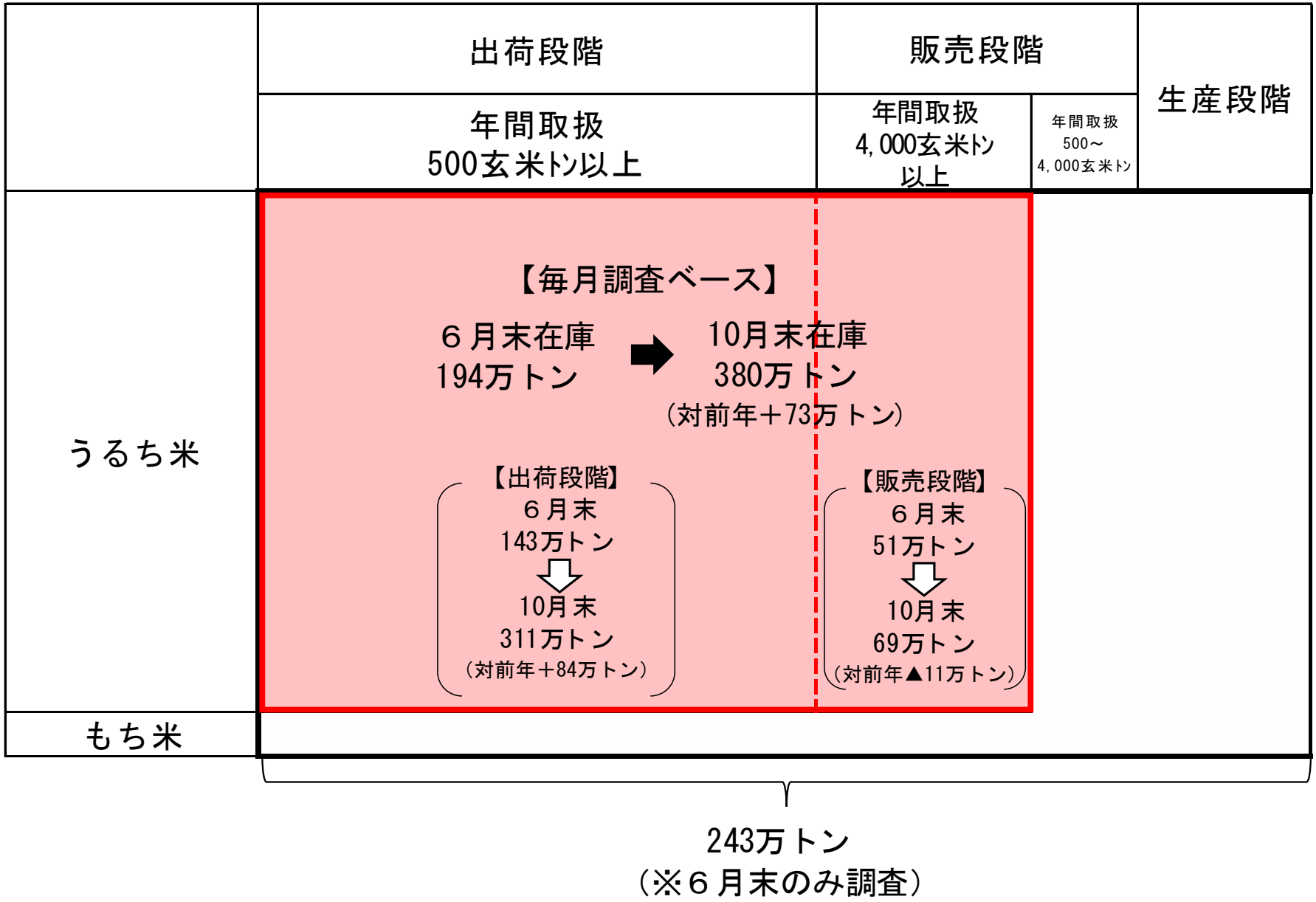
○ 民間在庫量の月別の推移（うるち米）



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。
※出荷段階は玄米仕入数量が500ﾄﾝ以上の集荷業者等、販売段階は玄米仕入数量が4,000ﾄﾝ以上の卸売業者等を対象。
※令和８年の在庫率は、８/９年の需要見通し（695～712万玄米トン）により算出。

（参考）毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

（単位：万玄米ﾄﾝ）



※毎月公表している民間在庫量は、①500玄米トン以上の出荷業者、②4,000玄米トン以上の卸売業者が対象。
　およそ民間の流通在庫全体の80%（194万トン）をカバー。